

山邊健太郎 やまべけんたろう 労働運動家、歴史家。明治二十八年五月～二十日東京本郷生れ、昭和五十一年四月十六日歿（一九五一年）。筆名Y、Y生。大正十四年日本労働組合評議會大阪聯合會に参加。昭和四年共產黨員、全国的檢舉（四・一六事件）の懲役二年、十五年治安維持法違反及びその下獄、獄中の終戦。二十一年日本共產黨統制委員、二十三年離黨して著述の専念。

著書に『日韓併合の史』（昭和四十一年）『日石炭書』『岩波新書』（『日本統治下の朝鮮』（昭和四十一年）『岩波書店』『岩波新書』（『社会主義運動半生記』（昭和五十一年八月）『岩波書店』『岩波新書』等。『山邊健太郎・回想と遺文』（遠山茂樹・牧瀬恒一・犬丸義一・藤井忠俊編、昭和五十五年四月十六日）『書房』がある。

